

梅ヶ島 山の声

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハズっくん

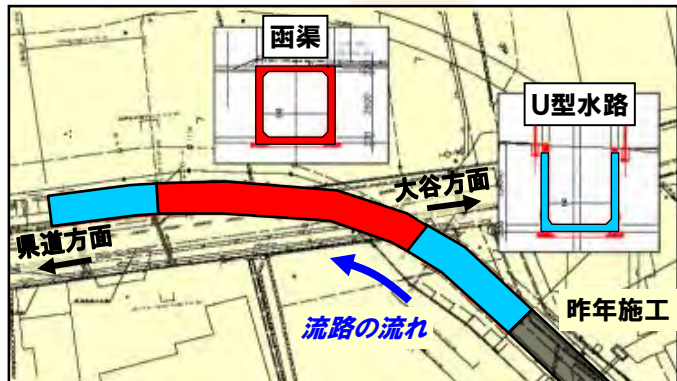
「工事だより」平成26年度 安倍川水系ウラの沢流路工工事

【施工者:(株)アースシフト、現場代理人:赤池俊行、工期:平成26年10月3日～平成27年3月27日】

現在、梅ヶ島新田地区で、ウラの沢流路工の建設工事が最盛期を迎えています。今年も振動や騒音を極力発生させないようOSJ工法(オープン・シールド・ジャッキング工法)を採用しました。この工法は、油圧ジャッキで推進するため、バックホウによる振動・騒音よりも人家へ与える影響を抑えることができます。

今年は市道新田1号線を横断するため、ボックス構造の函渠(地下水路)が大半になります。

地域の皆様には生活道路を迂回して頂くなど、大変ご迷惑をおかけしますが、土砂災害から地域を守るため無事故で工事を完成させるよう頑張りますので、工事へのご協力をよろしくお願いいたします。



大河内橋の新橋建設工事に期待

現在、梅ヶ島街道で大河内橋の新橋建設工事が進められていますが、これまでは下部工や護岸工事が行われていました。今回、上部工の形式などを静岡市役所葵北道路整備課より教えて頂きましたので紹介いたします。

上部工は「ニールセンローゼ橋」(右下の完成予想図参照)で、アーチ橋の一種で、斜めに張ったケーブルを配置したその姿は、安倍川や大河内地区の谷あいにもマッチして美しく軽快な感じになると思います。

「ニールセンローゼ橋」は国内では、黒川紀章氏デザインで豊田スタジアムへつながる「豊田大橋」や、山梨リニア実験線が中央道富士吉田線を横断する「小形山架道橋」(右写真参照)などが有名です。

新大河内橋は橋脚なしで安倍川を渡るため、河床変動による落橋の心配はなく、また、これまでのように対向車が来ないか気にしなくてもよくなります。私たちの生活道路ですので、市の担当者の方は大変でしょうが早期完成を期待しています。



路線名	(主)梅ヶ島温泉昭和線
道路規格	第3種第4級
設計速度	40km/h
橋長	165.5m
有効幅員	8.0m
上部工	ニールセンローゼ橋
下部工	RC逆T式橋台2基

新大河内橋の概要

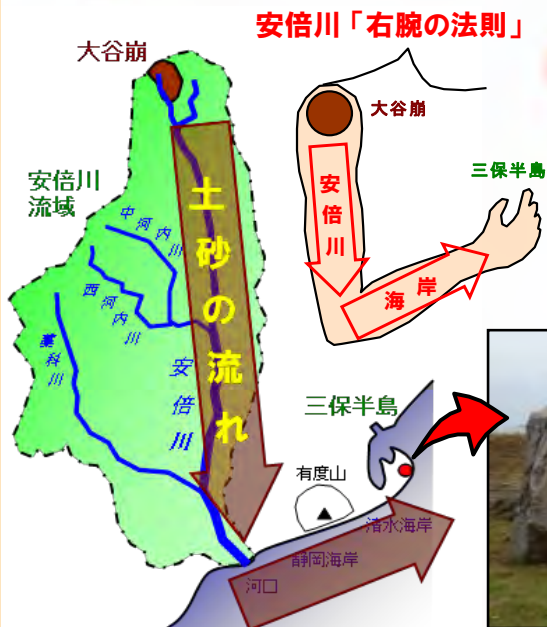


大河内橋の被災写真(S58年)



新大河内橋の完成予想図(ニールセンローゼ橋)

世界文化遺産構成資産「三保松原」のふるさととは「大谷崩」



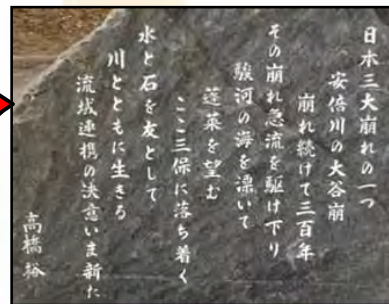
安倍川流砂系の土砂の流れ

「居浜想山(浜に居て、山を想う)」三保燈台の近くに梅ヶ島の巨石に刻まれた記念碑があります。また、東大名誉教授で河川工学の権威「高橋裕」先生(静岡市出身)の「日本三大崩れの一つ 安倍川の大谷崩 崩れ続けて三百年・・・」の石碑が大谷崩300年を記念して平成20年3月に土砂がたどり着く三保の地に建立されました。

安倍川流砂系の土砂の流れは、右腕の血流と一緒に、流れすぎても滞ってもいけない。「水と石を友として 川とともに生きる 流域連携の決意いま新た」この精神を忘れてはならないと思います。



安倍川流砂系内の住民の想いが詰まった大谷崩300年記念碑



「安倍川砂防アーカイブス」vol.1～大谷崩～

今号より、出張所や事務所の書庫を探索し、昔懐かしい写真を現在と比較して「安倍川砂防アーカイブス」として紹介します。1回目は大谷崩の東南稜斜面の変遷です。勾配35°の崩壊地に階段状の山腹工事が始まった頃の写真が真中、その後、工事が進みボランティアの方々による植樹活動もあって植生が回復した状況が右の写真です。人界戦力なので長い年月が必要ですが確実に効果が現れています。



昭和11年の大谷崩東南稜斜面



昭和61年(山腹工事が始まった頃)



平成25年(工事着手30年後)

編集後記

暦の上では立春を過ぎましたが、この冬一番の寒気が来て梅ヶ島は白銀の世界が広がるなど、まだまだ寒い日が続きます。寒い日は、体が冷え、細胞や臓器の代謝や血液の流れが悪くなり、高血圧、動脈硬化、ガンなどになりやすくなるといわれています。

人間の体は、36.5～37℃の体温で最も良く働くようにできており、体を温めるよう、軽い運動の他、ごぼう、にんじんなどの根菜類や、赤身の肉、卵、魚介類など、色の濃い暖色系の食材を毎日しっかり食べることが重要です。全身の血流を良くし、体調を崩さないよう注意しましょう。

現在、有東木では蠟梅が見頃を迎え、心地よい甘い香りを漂わせています。蠟梅の花言葉は「先見」「慈愛」「優しい心」だそうです。蠟梅の甘い香りは人を愛惜しむ思いを感じさせ、日々の生活に「ゆとり」と「やすらぎ」を与えてくれます。有東木地区をはじめとする大河内、梅ヶ島の人々に相応しい花だと思いました。



甘い香り漂う有東木の蠟梅

皆様からの情報やご意見を募集していますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html

